

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」
「組合員への助成活動レポート」

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	星つむぎの村
支援対象者・エリア	宮城県
企画開催地	宮城県名取市
企画名称	星空を届け隊 2024
実施期間	2023年12月2日(土)、3日(日)

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

東日本大震災以来、被災地の皆さんに寄り添える活動をしたいと考え、震災直後は物資の輸送と海岸沿いでのボランティアを、落ち着いてからは星に関して私たちにできることとして、仮設住宅の集会所などにおいて空気で膨らむドームの中でプラネタリウム・星に関する工作・観望会を行ってきました。

現在は「あの日の空は星がきれいで見えた人も見なかった人も心つながって明日につなげたい。」という要望が遺族会からあり、名取市にある閑上の記憶事務局と協力してイベントを開催しております。

今回は午前中に遺族会に限定したプラネタリウムと星空工作を行いました。サーランギーの調べに乗せてあの日の星空を投影し、亡き人を偲びました。星の工作はそれぞれのご遺族の思い出の星空をリクエストして頂き、その星空の入った「思い出の星空カード」と閑上の記憶の鳩風船にちなみ鳩モビールを製作しました。

午後は公民館周辺の一般の方々に参加してもらい、プラネタリウム投影 2 回と星の工作等開催しました(流れ星ロケット、星の雑貨屋さん、閑上の記憶と星つむぎの村 PR コーナー、12 星座カード作り、鳩モビールとクロスターモビール作り、望遠鏡を使って太陽の黒点を観察、お茶っこ、アンケートコーナー)。

夕方 17 時から 18 時には、公民館前広場にて観望会を実施し、木星、土星、すばるを望遠鏡で拡大した様子を見てもらいました。

翌日の午前中は、閑上の記憶丹野さんによるあの日から現在に至る被災地の様子の変化や心情をご説明いただきながら現地を見学しました。

去年の反省を生かして、午前と午後で内容と集まる方を変えたのは、参加者に好評でした。遺族会のメンバーは若い世代の方が増え、ブログで新たな広がりを作ってくださいました。午後の一般の方にアンケートを取ったところ、閑上周辺に住む人々があの日について書いてくださった方が複数いました。一般の方にも普段語れない震災の日のことを思い出す機会になった、という新たな気づきがありました。

活動の様子 (写真など)



閉上の記憶代表 丹野さんのあいさつ



午後の鳩モビール作り



プラネタリウムの前にスタッフ集合



午前中サーランギー奏者 奈良さん



午後 星座カードの制作風景



夜の観望会 後ろは閉上公民館



2日目 丹野さん 被災地のガイドの様子